

## 令和元年度 第2回八幡地域協議会会議録（概要版）

日 時 令和元年7月23日（火）午後1時30分～午後3時15分  
場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室  
出席者 13名 1号委員 佐藤政義 佐藤幸正 佐藤勉 池田満好（会長）  
本多秀之 後藤正一 村上光弘 小松久美子  
佐藤康晴 櫻田幸宏  
2号委員 小松幸雄 高橋知美（副会長）  
3号委員 池田 香  
欠席者 1名 1号委員 荒生明美

八幡総合支所：支所長（兼）地域振興課長 後藤啓、建設産業課長 伊藤将人  
建設産業課課長補佐 村上秀俊、地域振興課課長補佐 小松原毅、  
同課課長補佐 土井浩由、同課専門員 後藤重明

議事日程 1 開 会  
2 会議録署名委員の指名  
3 会長あいさつ  
4 協 議  
（1）委員提出案件について  
（2）その他  
5 その他  
6 閉 会

### 【協議の概略及びその結果】

本協議会では、事前に委員から提出された地域課題等に対して、市の考え方の説明と意見交換を行った。

また、次回は、市長選挙後の日程を見ながら、都合がつけば市長から出席していただき、今回出た意見を中心に意見交換会をすることとした。

### 1 開 会

高橋副会長が開会と委員出席数を報告した。

### 2 会議録署名委員の指名

会議録署名委員は、委員名簿2番 佐藤幸正 委員を指名した。

### 3 会長あいさつ

○池田会長 みなさん、お忙しいなか、第2回地域協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。令和に入り、傘で関係ない人の目をつけて失明させたり、放火により三十何人が犠牲になったりと、非常に殺伐とした事件が続いています。

昨年の8月5日の避難騒動から1年になろうとしています。九州西日本では台風5号による土砂災害、河川崩壊と立て続けに自然災害に見舞われています。

この鳥海山周辺でも1時間に80ミリを超えたこともあったようですが、せいぜい40～50ミリが最大であろうと考えていました。1時間に100ミリを超える降雨量はこれまでの人生で経験したことがないですが、この地域でも起こらないことではありません。自然環境が悪化している以上、経験のない自然災害に見舞われる恐れもあり、豪雨に見舞われることがないように祈ります。

安全で安心な地域を守るためにも、警鐘を鳴らし続けながら、少しでも地域貢献と地域の発展に地域の皆さんとともに協力したいと思っておりますので、皆様方の協力よろしくお願ひします。

### 4 協議

#### (1) 委員提出案件について

○議長 それでは、協議に入ります。皆様方から、13件の提案をしていただいておりますので、1件ずつ発表していただきながら、支所のほうから答えていただくような形で会議を進めたいと思います。事前に一覧表をお配りしておりますので、委員の皆さんから要点だけを手身近に説明していただきたいと思います。

池田委員から、都合で途中退席したいと申し出がありますので、最初に池田委員からお願ひしたいと思います。

#### **【12 酒田市政による3%シーリングの各コミュニティ運営に対する影響について】**

#### **【13 荒瀬川の中州の改修工事の更なるお願ひ】**

○池田香委員 今年度、酒田市の予算が全部3%削られたということで、コミュニティ振興会の予算も減らされ、自分のところのコミュニティ振興会では予算が80万円ほど削られています。今年度は自己予算で何とかカバーできるようですが、来年度は一人の従業員の予算が出なくなるので、コミュニティ会費値上げの話も出ていますが、老後2千万円問題も出ており、皆さん年金暮らしの状況でさらに負担が増えるのは難しいと思います。酒田市には減らさないように引き続き要望したいと思います。各コミュニティで各地域の地方自治をやってくださいということですが、人もいないし金もまわってこないで地方自治も立ち行かなくなってくるので、せめてお金だけでも頂きたいということで要望しました。

荒瀬川の中州の件は、先月あたりから防災関係の締め付けが厳しくなり、災害時の避難状況をしっかりすれば、だれが連絡してだれがどうやって逃げるのか、もう一回見てくだ

さいという話が、各コミュニティに回っていると思います。災害が起きてから逃げるとい  
うのは酒田でやっていると思いますけど、酒田の防災危機管理は全くなっていないと思  
うんですけど、根本を変えていかないと何にもならない。昨年、荒瀬川に水が出て氾濫地域  
となり避難したことがありましたが、今年4月に荒瀬川に工事が入っていたので、さっ  
そく聞いてもらったかと思ったら、削られたのり面だけの修正で、中洲の撤去という問題  
は解決しないという話です。危険性が全く変わっていない状況で、元を何とかしていただ  
きたいということで、あえて重複するような内容ですが、出させていただきます。

○**議長** ただ今の提案について、まず、コミュニティの3%シーリングの問題について、支  
所長お願いします。

○**支所長** 前回もお話をしましたが、財政課から今年度の予算も慎重に使ってほしいという  
指示が出て、部課長会議の財政研修でも財政が厳しいという話がありました。令和2年  
度の予算要求が始まりますが、さらに厳しいシーリングがなされるのではということです。  
ですので、今回は部内で3パーセント削減すれば重点事業は実施することができましたが、  
そういうこともできなくなるような指示がくるのではないかと危惧している状況です。例  
年、お盆すぎには財政課から説明があります。市長選挙もあり例年の日程とは違うと思  
いますが、引き続き厳しい予算編成になると言われておりますので、ご了承をお願いします。

○**議長** 予算の最終決定はいつ頃になるのか。

○**支所長** 1月中旬には内示が出ますが、その後復活などがあり1月中にはまとまります。

○**議長** 小松委員、コミュニティ自体としてはどうなのか。

○**小松委員** 自分たちのことは自分でやらなければならない社会状況になっています。ただ  
待っているのはマイナスなので、地域の人を集めてこんなことをすればなんとかというよ  
うなことしかできないのかなと思います。こういうケースは、社会全体がまとまってみんな  
で話していかないと進まない話で、ないものはない、あるところにははいて捨てるほどあ  
るというので、それをもらいたいというのが本音。それができるのは、酒田市の職員、市  
長、議員から動いてもらいたいというのが、私の本音です。

○**議長** 荒瀬川の中洲の改修工事について、建設産業課長から。

○**建設産業課長** 先ほど、県のほうで、今年の秋口に5か所の浚渫工事に入りたいという話  
がありました。県と市の議員視察が功を奏したのか。確定ではないので、工事箇所、期間  
が決まり次第、近隣の自治会にお知らせしますので、よろしくをお願いします。土量もわか  
らないので、本当にきれいになったなと思えるかどうかは、工事をやってみないとわかり  
ませんが、国土交通省等の工事をみると、上っ面をサラッと持っていく程度の工事かもし  
れませんが、ご理解をいただきたいと思います。決まりましたら、自治会のほうに伝えて  
いきます。

○**高橋副会長** アセスはしないのですか。

○**建設産業課長** そこまでは聞いていません。

○**高橋副会長** 珍しいものもいるので、どうなるのか気になりました。

○**議長** 浚渫でそこまですることはないと思う。夏の間、大雨が降らないことを祈るばかり。

○**佐藤幸正** 関連して、荒瀬の公園あたりの荒瀬川河川敷に桜の木があるが、水が出た時に

問題ないのか。川きれでは、昔は河川敷の中まで全部刈っていたが、今は、土手しか刈らない。中まで刈らないのは、自然環境とかがあるのか、その辺わかれば。

○建設産業課長 河川敷の中まで刈ればいいのかもわからないが、魚の生態系に影響するといわれたこともある。河川敷まで刈ると重労働になるので、土手で終わっているのではないかと思います。

堤内の桜は、流れを阻害するので支障木の扱いになると思います。流れの支障になるかどうかは、今後見ていきます。

○佐藤幸正委員 桜が咲けばきれいだが、下は草むらで桜を見に来る人もいないと思うので、きれいにした方がいいのではないかと考えています。

○高橋副会長 川きれ運動の時期は、鳥の子育ての時期で、数を減らしている鳥の種類もいて、子育てに影響を与えるので、最後まで河川をきれいにしないでほしいということを行った人がいるのではないかと想像できます。

私からも、土手の改修工事の時に河川に土をがはっと入れて工事をしていたら、何回も土を水で流されて、ヤゴがとれる数がずいぶん減っています。土が川底を撫でたということで、去年から今年にかけて生態系、生き物に影響がありました。工事が必要なのはわかるので、土の置き方、やり方を考えて工事をしてもらえればよかったと思います。次は土が流されないような工事のやり方を考えてほしいと思います。

#### 【 1 旧八幡町の都市計画区域の見直しについて】

○議長 それでは、順番を戻して一番の佐藤政義委員をお願いします。

○佐藤政義委員 都市計画税は、合併前から三柏さんが企画課長の時に話をしましたが、当時は、都市計画道路の図面を見せられて、都市計画税でこういう道路ができるという話を聞きましたが、その道路はもうなくなり、観音寺市条を結ぶ二本の橋も計画から外されました。平田、松山は都市計画区域を設定してなくて、なぜ八幡町だけ都市計画を設定したのか。都市計画により都市計画税が発生している。旧八幡町の時代から市条一区から法連寺、観音寺栄町あたりまで都市計画区域になり、固定資産税に都市計画税が課されている。合併して都市計画税の法律は変わっていないと思いますが、評価が変わったのか、税額が上がっていると感じます。八幡町もほかの市町村より過疎化が進んでいるので、年金の方が多いという話が出ていますが、旧平田、松山と同じように都市計画区域から除外していただきたい。すぐにできる話ではないが、こういう情勢の中で負担軽減を考えれば、もう都市計画道路もないので、なんとか外してもらいたいと思います。

○議長 ただ今の提案について、自治会長会でもこのような話が出たが、市の考え方を願います。

○支所長 市長と語る会でも、手続きが大変だという話が出ています。都市計画事業としては道路のほかに公共下水道の整備をやってきたということで、下水道の整備に伴い、都市計画区域を拡大してきた経緯もあります。

これまでは目に見える事業をやってきたのでご理解いただいていたと思いますが、都市計画事業でメリットのある事業がなくなってきたということで、皆様からご理解いただけ

ないところが出てきたのかなと思います。八幡町で都市計画を設定したのが昭和35年で、県内でも早い時期に設定したようです。それだけ、開発を進めたいという意欲があったのだと思います。廃止するには、市の都市計画審議会もあり県の審議会にもかける必要があります。かなり相当な理由がないとできないということで、以前の市長の回答も「相当の理由がないと難しい」ということで、すぐにはできないということです、ご理解をいただきたいと思います。

○議長 以前、市長に要望した時も、平田、松山からはもらっていないので、何か事業があれば八幡を優先しますという話で我々も納得したようなこともあったが、かなり手続きを踏まないで解決しないということになるわけですね。

松山、平田には取られていないのに八幡だけ取られているということで面白くない。長い目で見ていったときに得をするか損をするか。特に被害があった時には違いが出てくるだろうとは思いますが、今後の課題として残していきたいと思います。

○佐藤政義委員 公共下水道という話が出ましたが、平田松山は農集でやっている。公共下水道でなければ下水道ができないという話ではなくて、農林水産省からもらうか国土交通省からもらうかだけの話で、われわれ団塊の世代がいなくなれば全国的にも人口はだんだん減るわけで、今の考え方でいいのか。5年10年後を見通して、外さなければならぬという雰囲気になるように事務局のほうからも頑張ってもらいたい。

## 【2 国道344号線の除草について】

## 【3 旧八幡病院3階の用途について】

○佐藤幸正委員 国道344号線をきれいにしたいものだと思っており、補助事業があるという話は聞いたが、毎月何かしらやらなければならないようで、毎月人を集めて作業するのは容易でない。アメシロが出たら薬を出すのと同じように草が生えたら除草剤を出すことに簡単にできないものか。安田と門屋で除草剤をまいているのを見たと思うので、除草剤を配布していただけないでしょうか。

3番目は、旧八幡病院の3階がどのようになっているのかわかりませんが、スポーツ大会の役員をしており、大きい大会に行くとき宿泊を伴います。スポーツ少年団も米沢からくると前日泊まらなければならなくなります。泊り場所を探すのが大変で、後援会組織ががちりしていればいいですが、財源が弱い団体だと泊まる場所に四苦八苦している状況にあります。親子スポーツセンターに泊まったという話を聞きましたが、ハウスタストがひどくて子供たちが咳が止まらなくなったという話も聞きました。もっと安く泊まれるように、病院の3階ができなればということです。

八幡中学校の合宿所という形にして、例えば、体育館、ゆりんことセットにして、ある期間、夏休みには高校大学の合宿する時期になるので、野球場もあるので、そんなやり方もあるのではないかと思いついたので出しました。詳しい調査はしていません。

○建設産業課長 マイロードサポートということで、県で地元をお願いしてやっている事業があり、毎月ではなく、年3～4回、植栽とか草むしり、ごみ拾いといった事業を行っています。

除草剤の支給に関しては、生態系に影響しないこともないので、除草剤は使っていません。去年、歩道のあたりに振っているのを見たことがありますが、なぜ振っているのかという感じがありました。行政が支給したり行政職員が除草剤を振ったりすることありませんので、ご理解をお願いします。

○支所長 旧八幡病院の3階の利用に関しては、他の団体からもご意見を伺っています。現在、2階は事務室で使っていて、3階は空室状態です。合宿所になるとクリニックの入り口を別にしなければならないとか、宿泊所としての設備を充実させなければならないということもありますので、先ほどの財源の話でもありませんが、どうしても建物への投資は控えるようにということがありますので、合宿所は難しいと思います。

合宿所については、八幡体育館の改修に関して、合宿所も併設するという話もあり、計画の中に含めるということも考えられるかと思しますので、ご理解をお願いします。

○議長 医者をやりながら合宿所というのも無理だと思いますので、これまでの経過からすると、本多委員からも出たように体育館改修の時には災害の避難場所と宿泊機能も備えてほしいという話もあり、体育館を整備する時には、我々にも声をかけて相談しながらという話も承っています。そのときは、合宿所のことも考えていきたいと思しますので、行政のほうからもバックアップよろしくをお願いします。

#### 【4 防災無線ラジオについて】

#### 【5 曙地区消防看板の腐食落下】

○後藤正一委員 防災無線が整備されて十数年たち、大沢地区で防災無線が鳴らないという話を多く聞きます。去年の8月のように警察官が一軒一軒回ってきて避難するように言われて避難したということもありました。防災無線のメンテナンス、受信感度の悪いところの改善をしていただければと思います。

曙地区の防火用水、消火栓の看板ですが、腐食で落下しているところも曙地区に限らず多々あるようです。火災があった時のために、看板の改善は必要ではないかと思って提案させていただきました。

○支所長 防災無線は平成8年の整備なので、20年以上たち、状態が悪くなっていることは否めません。昨年豪雨災害の時にも聞こえないということで修理依頼が殺到し、昨年だけで200万円近くかかりました。一台の修理に2~3万円くらいかかり、部品もなくなってきたり、修理したのに聞こえないということもあります。在庫もなくなってきたり、転入した人に貸与する防災無線もない状態です。今後、デジタル方式に代わる時は、有償で防災ラジオを買い上げていただくこととなりますが、支所地域は防災ラジオの貸与に変更したいと考えています。ただし、防災ラジオだとこれまでのように地域へのお知らせができなくなり、災害の発生、危険、緊急放送しか入らなくなります。

消化栓の看板は、酒田管内全域で消火栓の看板を設置しない方向で進んでおり、腐食した場合は撤去する方向で進んでいます。消化栓は常備消防、消防団は自然水利とすみわけしています。

○議長 防災無線は買えばいくらかかるのか。

- 支所長 1台4万円くらいです。
- 議長 防災ラジオは有償ということだがいくらくらいなのか。
- 建設産業課長 4千円くらいです。FMとかYBCの公共放送に割り込んで防災情報を流すということなので、一般の人はしゃべることができません。
- 議長 防災無線が聞こえないという話が出てきているので早急に対応していただきたいと思います。
- 支所長 緊急放送を聞くということでは、今でも八幡管内で入るので、防災ラジオを買っていただくということはありません。
- 議長 鳴らなくなったのでそのままという人がほとんどだと思うので、PRしてもらいたいと思います。これに切り替わりますということ。
- 支所長 支所地域には無償で貸与してきた経過があるので、お金を出さなくてもいいかもしれないということもあります。
- 高橋副議長 防災ラジオはどこで買うことができるのか。
- 支所長 防災係のほうで購入できます。
- 議長 自分の命にかかわる話なので、きちんとやったほうがいいと思います。

#### 【6 鳥海高原の今後のあり方について】

- 村上光弘委員 6月のコミュニティしんぶんに掲載していましたが、行政側では牧場の方向性は決まったのか。
- 建設産業課長 6月のコミュニティしんぶんでは、やわた観光が8月で手を引くという話で、今後、牧場をどうするかは、まだ公表できる状況にはない状況です。
- 村上光弘委員 せっかく旅行村、山荘があるのに、なぜここの牛乳が飲めないのかという話を小松会長ともしています。乳製品は近くで消費して製品にするのがうまいと思います。市販の牛乳でもおいしい牛乳がなくなっているので、せっかく牧場で牛乳を作っているので、旅行村や山荘で飲めるようにすることも考えた方がいいのではないかと思います。やめるのはいつでもできるが、これだけのことを新たにやることはできない。もう少し利用する方向にもっていければいいと思います。結論を出すのではなく、いろんな人の話を聞いて、やめなくてもいい方向にもっていければいいと思います。
- 議長 酒田市は、もう完全に関係なくなっているのか
- 建設産業課長 土地と建物は酒田市のもので、貸している状況です。牛の所有権はやわた観光と半々だと聞いています。
- 議長 なくなるのはさみしい限りですが、経営が伴うわけなので。ヨーグルトは牛乳をもってきてつくるといった話のようだが。
- 建設産業課長 全農山形からサポートを受けて、生乳をもってきてヨーグルト工房で作っていくというふうに伺っています。
- 議長 味は変わらないのか。
- 建設産業課長 味が変わらないように吟味して作っていくということです。

- 小松幸雄委員 牛は、市とやわた観光が半々と聞いたが、どういうわけでそういうことになっているのか、もう少し詳しく。
- 建設産業課長 2年前に市がやわた観光に経営を譲渡したときに、100頭くらいの乳牛をやわた観光が借りて経営を始めましたが、牛の体調がよくないので、やわた観光が毎年何十頭かずつ仕入れたために半々になったと聞いています。
- 小松幸雄委員 自分で確認したわけではないが、やわた観光が仕入れた牛は大半死んでいると聞いているが、その辺はどうなのか。
- 建設産業課長 健康状態がよくなかったということで、家畜衛生所から指導を受けて、薬投与をして改善したがあまり芳しくなかったという話は聞いています。
- 小松幸雄委員 やわた観光の社長から、二十何頭妊娠している牛を岩手から買ったという話は聞きましたが、ほぼいなくなったということでした。なかなか、搾乳する牛は難しく、猛暑が続いたので亡くなったという話は聞きましたが、最初は無償で借りて経営したのに、半分はやわた観光の牛だと言われるとなんか違うのではないかと感じたので聞きました。
- 議長 経営は人の手に渡ることになるのか。
- 建設産業課長 そういう情報もありますが、まだ決まったわけではありません。ただ、市の考えとしては、そこで牧場をやりたいという人が現れたとしても、国定公園内で景観もあり、土地建物が競売にかけられても困るので、売らずに、貸すということはあり得ます。

#### 【7 日向かふえの支援】

#### 【8 孤独死を防ぐ手立ては?】

#### 【9 日向・大沢地区に24時間利用しやすい公衆トイレの整備を】

#### 【10 交通弱者（移動制約者）への対応】

- 小松久美子委員 日向かふえは、30日にプレオープンしました。頼まれて行ったときに、たまたまスポ少の練習試合があり、子供たちが次々と買いにきてくれました。建物の整備は、市にお願いするしかないのかなと思っています。もともと小学校の建物なのでトイレも狭く、飲食店ということ考えると整備が必要なところがたくさんあります。カフェのお金をためて改修ということにもならないと思うので、よろしくお願ひしたいと思います。

日向地区で、昨年、ご高齢ではなかったが亡くなっていたということがありました。隣近所の人が、新聞がたまっていたので見に行ったらトイレで亡くなっていたということで、これから年を重ねていくと、そういうことも起こるのかなと思います。升田あたりも戸数が減って、家はあっても人がいないという状態で、高齢者だけでなく、いつのまにか亡くなってしまったというような、心細いことまで考えてしまいます。昔と違って隣近所の結びつきも薄くなっており、そういうことに対する対策もお願ひしたいと思います。

9番は、去年と同じですが、利用しやすい公衆トイレの整備のお願ひです。交通弱者は、免許返納して医者通いをしなければならなくなると、ぐるっとバスで観音寺に出て乗り換えて、ということを見ると、丈夫なうちはいいが、車いすになると用事が足せなくなるのではないかとということを見ると、ぐるっとバスだけでは心細いと感じました。

市によっては、免許返納すると毎年のようにタクシー券をもらえるという話を聞いたこ



ともあります。自分の住んでいるところでは、そのタクシー券でどこまでいけるんだろう、ということを見ると、タクシー券もらっても自分の生活がよくなると考えづらいのかなと考えます。高齢化が進む中で、酒田の大きな課題になるのではないかと思います、あげさせていただきます。

○支所長 日向かふえは、6月30日にプレオープンし、7月26日に本格オープンの予定となっていますが、地域の皆さんからご協力していただき、手作りで整備していただいたところです。ご要望のトイレ等についても、お客さんも増えると思いますので、給食室、2階の使用も要望されておりますので、全体的な整備の中でトイレの整備も検討していきたいと思います。

一人暮らしの見守りについては、高齢者、障がい者への支援事業はありますが、若い方への孤独死対策はない状況です。社協のほうでは、見守りネットワーク支援事業はありますが、なかなかすべての方に目が届くような事業はない状況ですので、担当課と協議して、これらの意見を伝えていきたいと思います。

トイレの件は、かなり前からご指摘いただいています。これも箱物で、青沢方面だと水の面からも不便なところもあり、場所の検討も必要かと思えます。大沢コミセンのトイレの24時間化とかも検討しているところではありますが、具体化はしていません。保健センターのトイレは24時間使えますので、先日、学童保育がリニューアルしたことを契機に国道側に学童保育と24時間使えるトイレの看板を設置したところです。

交通弱者への対応については、免許返納した場合、タクシー利用券とバスの運賃を100円割引ということでごらるとバスはただで乗ることができます。消費税がらみで運賃が改定された場合については今後の検討になります。運転経歴証明書の手数料1100円については、市が全額助成しています。

○佐藤政義委員 カフェは何人くらい利用しているのか。

○小松久美子委員 平均して15人くらい。もっと多い日もあります。

○議長 あのままで使い勝手が悪い、かといってあふれるほど入る日は何日かしかないの、地域の良さを壊さないように配慮をした改修をお願いしたいと思います。

○小松久美子委員 スポ少の練習と重なると駐車場がいっぱいになり、入れない車もありました。駐車場の使用も相談しながら使いやすいようにしていきたいと思います。

免許返納は、どうやったら安心して返せるのか考えてもわかりませんが、安心して返納できる条件整備を考えてほしいと思います。公共交通機関が発達したところだとそういう心配はないのかもしれませんが。

○支所長 都内の公共交通が発達したところでも高齢者による自動車事故が発生しています。公共交通があればいいということでもないと思います。運転したい人がいれば、免許返納は進まないの、免許だけ返納しても本人の自覚がないとできません。家族が言ってもかえって反発するという話も聞きますので、有効な説得の仕方などマニュアルも出てくるかとは思いますが、そうしたことも含めて検討していきたいと思います。

○佐藤康晴委員 8番に関して、うちの村でもありましたが、発見したのは新聞配達員でし

た。何日も同じ新聞が入っていたのでおかしいとなり、村の人に知らせた。毎日訪問する新聞配達員や郵便配達員と協力体制をとれるようなシステムがとれないものか。

- 支所長 新聞配達員や郵便配達員との連携は、ほかの自治体では提携してやっているところもあるので、先進的な事例を見ながら、よりよい制度ができるように検討していきたいと思います。

## 【 11 八幡自然公園の管理について】

- 高橋知美委員 八森自然公園をどうしたらいいか、話し合いの場が持たれ、行政、議員、自然活動をしている人も参加しました。その時、行政の方から頂いた地図を今配布しました。地図の中で管理されているのは色がついたところだけで、色がついていないところは、現在、管理されていないところです。八幡町の時代は管理していないところはありませんでしたが、酒田市になってからは、いろんな課が管理していて、空白部分では管理できていないところもあります。スポーツ施設の近くのトイレが管理できていないので、ボランティアで管理していると言った行政の人もいました。まったく管理できていないトイレもあり、電気がつかない状態のトイレもあります。八森自然公園をどうする以前に、まず、もともとの管理者を決めなければならないと思い、案件を出しました。元の八幡町の時代は一つのところで管理していたので穴がなく、役場だけだったので意見も通りましたが、現在は、この場所はスポーツ振興課、この場所は農林水産課と分かれているので、細分化されすぎていて、どこに言えばいいか、利用する側にも管理する側にとっても難しい状態になっているので、ぜひ、一本化のほうで考えてほしいと思います。

- 支所長 先日、各担当課と自然保護団体の皆さんも含めて現地調査に回りました。そうした中で実態が見えてきた状態で、本来の公園として維持管理ができるような体制を整えるよう、話し合いの場を数回もち、具体的に詰めていきたいと思います。また何かありましたらご意見をよろしくお願いします。

- 高橋知美委員 管理する人がいなくなり、植物だけではなく、いろんな動植物がわかる人から山を見てもらわないと。今、本当に山が荒れていて、実際に松枯れや虫で倒れそうな木があり倒れそうで危ないということもあります。一度、手を加えた森は、手を加えないと本当に荒れてしまい生き物がいなくなってしまうので、自然全体をみれる人が必要だと思います。昔は安いお金でも八森観光さんが雇った人が森を見ていましたが、今は、森を見れる人がいなくなりましたが、人が入りやすい山にするということも大事ですが、人件費にもお金をかけていただきたいと思います。ぜひぜひお願いします。

- 支所長 以前のように管理できる人がいなくなっている状況で、人材を探すことも難しいですが、全体の管理も含めて人件費の予算も要望するようにしていきたいと思います。

- 議長 これだけの施設があるので、きれいに管理することが大切だと思います。やわた観光さんと相談しながら、予算化のほうもよろしくお願ひしたいと思います。

シルバー人材センターには、かなり人がいるような話も聞いているので、折を見て相談に行っていただきたいと思います。

ほかに何かありますか。

### 【家族旅行村グラウンドゴルフ場の使用料について】

○小松幸雄委員 家族旅行村のグラウンドゴルフ場は、お客さんから利用料金がいただけないという話を聞いた。

公園、山の管理だけではなく、牧場の管理も同じ。草を刈らないと荒れ、増えてほしくない動物も増えます。鳥がやってきても餌が取れない、繁殖しない事態に陥っています。管理する人、上に立つ人がそういった知識をもって管理していただければありがたいと思います。

グラウンドゴルフ場をどのように考えているのか、お聞かせいただければありがたい。道具の貸出料はもらえるがグラウンドゴルフ場の使用料はもらえないので苦しいと支配人から聞きました。

○建設産業課長 あとで聞いてみます。

### 【鳥海山の山小屋情報について】

○高橋知美委員 鳥海山に登る人から、鳥海山の地図に山小屋の情報をもっと載せてほしいという話がありました。万が一、山小屋に泊まらなければならないということになった時に、山小屋の情報がないので、いくらで泊まれるのかとか、人がいるのかとか、地図にそうした情報を載せていただくようにお願いします。

### 【鳥海高原ヨーグルトについて】

○櫻田幸宏委員 同級生とラインでやりとりしていると、鳥海高原ヨーグルトを地元で作っていることを知らない人がほとんどでした。仙台の女性は、最高においしいと、三越では午前中で売り切れになり、なかなか手に入らなくて高級品だと言っていた。地元の人よりほかの人がほしがっているヨーグルトなんだと実感しました。今日の話聞いてもったいない、もうちょっと頑張って、いっぱい提供すればいいのにと思いました。

### 【八森サッカー場について】

○佐藤勉委員 八森のサッカー場について、駐車場は上に10台くらいはとめられますが、スポ少の大会では、上の駐車時は審判の駐車場として使い、あとは路上に駐車していました。下のグラウンドゴルフ場の駐車場に置いて歩いて行けと言われても、道具を持っているので大変ではないかと思います。救急車を呼んだ時にも困るのではないかと。また、ラインが全然見えなくなっている。スポ少の監督が言っているのか言っていないのか、わかりませんが、路上駐車がいいですよとは言えないと思います。路上駐車は30～40台あったと思います。

○議長 そういう問題があって、サッカー場の手前の山を切って駐車場を作るという計画があり、高速道路の盛り土にもっていけば国土交通省がただで土をとって運んであげるといふ話があった。自然破壊だと地元の反対があり、一條のほうに土砂崩壊があるのではないかと、など、様々な問題があって、駐車場を作るという話は、いちどボツになった経緯があ

る。

○佐藤政義委員 今年度予算でパークゴルフ場の調査費がついている。これからパークゴルフ場になってサッカー場は使えなくなると思う。

国交省から酒田市に土をとるところがないかという話がきて、酒田市で八幡支所のほうに打診したということで、地元で駐車場を作ってくれと言ったわけではない。たまたまとったところを駐車場にすればいいのではないかという話だった。

○佐藤勉委員 サッカー場はなくなるという考え方か。

○支所長 そうです。

○議長 グラウンドゴルフ人口が増えてきて、そういうことになるということだそうですね。体育館の整備については、これから市長との話し合いでもでてくると思いますが。

### 【孤独死対策について】

○本多秀之委員 昨年提起したものは、これから検討ということになって、今回、意見を出すことまではしていません。

今日の話の中で、8番孤独死の話について、どこのコミュニティでも、怒りを覚えるくらい、隣との付き合いが希薄になっています。この田舎で、隣の間がこの時間どうしているか、一昔前ならつうつうで分かっていた時代に戻さない限りは、いくら公助をたのんだところで何の役にも立ちません。一から住民の心を正していく努力をそれぞれコミュニティでしていただくしかないと思います。防災すべてにかかわることなので、極論すると一つのコミュニティ20世帯だと仮定すると、1軒目と2軒目、3軒目と4軒目というふうペアリングして、2世帯は何がどうあろうと毎朝、毎晩、声を掛け合う。一昔前にあったような人のつながりを持ってという細工をし直すしかない、あくまでも自助の世界のことだと思います。これを公助にということは、一人一人の住民の無責任さの表れだと感じ怒りを覚えるところです。それぞれコミュニティの中で昔できたようなつながりを持つように仕組みづくりを検討されたらどうなのかと思っています。

○議長 確かに、そこの地域では自治会長の手腕と地域のつながりがあるわけなので、地域の自助と共助でやっていくのが当たり前だということは、私も大賛成です。

### 【鳥海高原ヨーグルトについて】

○村上光弘委員 ヨーグルトのボトルの裏を読みます。「自然が育てた美味しいヨーグルト。雄大な鳥海山を仰ぎ見る鳥海山麓は、冷涼にして豊かな牧草を作ります。豊かな牧草をいっぱい食べて育った乳牛は、ストレスもなく健康で本当に美味しいミルクを出してくれます。このミルクをもとに長時間丹念はっ酵の技術をもって「うんめえ」ヨーグルトを作りました。このようなミルクだからこそコクのある味わいと、ミルクの栄養素をしっかり包み込むことができました。香料・酸味料・安定剤等の添加物を一切使用しないヨーグルトです。安心してお召し上がりください。」これが使えなくなるわけですね。

○議長 鳥海高原というのは使えなくなる。立派なヨーグルトだということを感じておいてください。

○議長 それでは、皆さんから提出していただいた案件は、以上です。

第3回目に関しては、市長の都合がつけば呼び出すつもりです。ただ、9月1日に市長選挙があり、日程はわかりませんが、これを土台にしながら、皆様方から意見を出していただきながら、進めていきたいと思えます。

○小松幸雄委員 自治会の日程も考慮してほしいと思えます。

## 5 その他

< 事務局より今後の予定、報酬・費用弁償の支払いについて説明 >

## 6 閉会

○議長 それでは、議事を終了したいと思います。

○副会長 それではこれもちまして、第2回地域協議会を閉会いたします。  
委員の皆さんご苦労様でした。